



Monthly Times

和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成 27 年 (2015 年) 11 月号

文化祭が開催 テーマは「Japonism ～和の心～」

11月13～14日の2日間にわたり、文化祭が開催されました。今回の文化祭のテーマは「Japonism ～和の心～」です。初日は折悪しく風雨が強く、バザーは屋外での開催を断念し、会場を急きょ生徒ホールに変更するなど、想定外の対応に追われました。それでも各クラス雨にも負けず風にも負けず頑張って取り組み、バザー会場は活況を呈しました。また、育友会恒例のカレーも登場しお母さん方が腕を振ったカレーも好評でした。茶道部は『一期一会』と題してお茶会を開催しました。書道ガールズのパフォーマンスは力強く素晴らしい出来上がりでした。雨でギャラリーが少なかったのがとても残念でした。

1日目は、午前9時に第1体育館で開会式を行い、全体鑑賞とヒットスタジオで盛り上がりました。午後は各クラスのバザーと第1体育館でロックコンサートが行われました。

2日目は、午前は各クラスのバザーが行われ、午後は第1体育館で全体鑑賞と閉会式が行われました。閉会式では表彰も行われ、テーマに採用された3年C組の「Japonism ～和の心～」、展示・アトラクション部門では1年D組の「バルーンアート」、ステージ発表部門では2年C組の「ディズニーマーワールド・ミュージカル」、トランプアート部門では2年D組がそれぞれ受賞しました。ヒットスタジオ部門では、ダンスを披露した2B（竹下愛理さん・角川咲季さん）、2C（池田菜々子さん・寺本萌さん）2D（深海菜さん）のグループが受賞しました。和の心で来場者の皆さんをおもてなし出来たでしょうか？



映画鑑賞「海難 1890」

2時間12分の上映時間がとても短く感じられるほど感動的な映画でした。映画は、日本とトルコ両国の友好の歴史に隠された2つの知られざる物語を軸に展開します。一つ目は、1890年のエルトゥールル号の海難事故。二つ目は1985年のテヘランでの日本人救出です。時代を超えて受け継がれてきた、日本とトルコ、2つの国の人々の



真心と絆を描いた映画でした。エルトゥールル号の海難事故では、大島の地元住民たちによる自己犠牲的かつ献身的な救助活動が映し出されています。その甲斐あって、最終的に69名の命が救われることとなります。時は流れて、1985年にイラン・イラク戦争勃発します。サダム・フセインのイラン上空航空機に対する無差別攻撃宣言によって緊張が高まる中、215人の日本人がテヘランに取り残されてしまいます。日本大使館からの要請に対して、時のトルコ首相は、多数のトルコ人がテヘランに残っていたにもかかわらず、それを受け入れ、日本人のために優先的に飛行機の席を譲ります。かつて受けた「日本の真心」に「トルコの真心」で応えた瞬間でした。上映終了後に館内が大きな拍手で包まれ、さらに感動の余韻を増幅してくれました。案外知っているようで知らない、地域の歴史を知るよい機会になったことと思います。

津波・防災訓練（避難訓練） ～津波防災の日 11月5日～

11月5日（木）の津波防災の日全国各地で緊急地震速報の訓練が行われ、本校でも抜き打ちの防災訓練（避難訓練）を実施しました。この全国的な訓練は内閣府と気象庁が年2回実施しており、毎年第2回目の訓練は、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施している訓練です。午前10時過ぎに校内に緊急地震速報が放送され、一斉に避難を開始しました。



串本中学校の生徒も同時に避難を開始したため途中混雑した箇所もありました。結果的に全クラスが避難場所に集合完了した時間は、津波の第一波の到着予想時間を超えていました。訓練とはいえどももう少し紧迫感をもって臨んでほしいところです。まだまだ訓練が必要だともいいました。

【一口メモ】11月5日は嘉永7年（1854年）の安政南海地震（M8.4）で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」※の逸話にちなんだ日です。

ミニFM局（実験試験局）防災訓練

11月15日（日）、串本町潮岬地区でミニFM局（実験試験局）を開設し、本校の放送部（部長3B高野諒君・2B山門海君・2C藤井良平君・水野裕矢君・1B松原伶樹君）と生徒会（会長2C平原悠成君・2D和田愛美さん）が参加して実験放送を行いました。この試みは和歌山放送など県内の放送局や和歌山大学の研究者、企業団体でつくる県情報化推進協議会が中心となって行われました。大地震や土砂災害の発生後は、ラジオが地域住民にとって身近で貴重な情報源となることが想定され、住民に対して、どのように情報を伝えればいいのかということを目的として行いました。さらに災害時には地域の高校生が情報発信の担い手となることが期待されており、今回の実験は、串本沖を震源とする大規模な地震が発生したという想定で行われました。FMの電波は半径約500メートルまでが聴取可能で、参加した本校のメンバーは、生活情報や地域の状況を伝える放送原稿を読むなど、熱心に取り組んでいました。



弓道部男子団体 近畿大会優勝

第23回近畿高校弓道選抜大会が11月22日、兵庫県姫路市で行われ、近畿2府4県から14チームが出場しました。今回、弓道部の男子が団体の部で見事初優勝を飾りました。メンバーは、串本校舎2年生の松下希澄君、小芝靖智君、平原悠成君と古座校舎2年生の中拓己君です。この優勝で来年の同大会の出場権も得ました。ちなみに和歌山県からは本校以外に日高高校、紀央館高校も出場しました。弓道部の皆さん優勝おめでとう！！



演劇部 近畿大会へ ～県高等学校演劇祭 最優秀賞受賞～



11月1日（日）和歌山市の県民文化会館で行われた県高等学校演劇祭で本校演劇部が最優秀賞を受賞しました。この受賞により、12月26～27日に京都市で行われる近畿高校演劇研究大会に出場することが決まりました。部員は3人で串本校舎は2年生の藤井良平君が演劇部に所属しており、古座校舎の2名と共に活動しています。自分たちで作上げたオリジナル作品で、題名は「扉はひらく」です。近畿大会での活躍を期待するとともにぜひ全国大会を目指して頑張ってください。また、12月20日（日）に近畿大会出場記念公演として串本古座高校（古座校舎体育館）において開催（開場13:30 開演14:00）する予定だそうです。ぜひ皆さん観に行ってください。